

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

11月18日(土) 郷土料理を大盤振る舞い

長浜の冬の料理の代表格「鴨料理」。毎年11月15日の狩猟解禁に合わせて、市内の料理店で一斉に鴨料理が提供されます。今年も、その鴨料理をPRしようと、えきまちテラス長浜で鴨汁が観光客らにふるまわれました。この日は同じく郷土料理のピワマス寿司もふるまわれ、長浜の二大グルメがそろい踏み。愛知県から観光に訪れた女性2人組は、「大変おいしかった。温まりました」と思いがけないごちそうに喜んでいました。



11月18日(土)・19日(日) 様々な音楽が披露されました

「みんなでconcerto(こんせ)長浜音楽祭2017」が長浜文化芸術会館で開かれ、35の団体が音楽活動の成果を発表しました。この日は、多くの合唱団をはじめ、箏やよし笛などの演奏が披露され、一曲終わるたびに会場は大盛り上がり。幕間では、出演者が練習秘話や曲に込められた想いを語りました。2日間にわたり開催されたこの音楽の祭典には多くの人が訪れ、芸術の秋にふさわしいひとときを過ごしました。



11月23日(木・祝) 紅葉を眺めながら飲むお茶もまた一興

己高庵で恒例の紅葉茶会が開かれました。訪れた人をもてなすのは、日頃の授業でお茶の作法を学んでいる木之本地域の4つの小学校の児童たち。お茶を運んだり、茶室の説明をするなど、懸命にもてなしていました。この茶会は、毎年600人ほどの来場者があるとのこと、この日も朝から多くの人々が訪れ、移りゆく秋の景色とお茶を満喫している様子でした。



11月26日(日) かわらけ投げの世界王者が決定

竹生島の都久夫須麻神社で、今回初めてとなる「かわらけ投げ世界選手権」が開催されました。栄えある第1回の優勝者、深山裕美さん(日本人の部)は、「無心で投げたのがよかったのだと思います。願い事が叶うと嬉しいです」、イアン・ミッコルムさん(外国人の部)は「素晴らしい経験でした。このイベントを開催してくださってありがとうございました」と、それぞれ喜びを語りました。



長浜市公式 SNS

- 市民開放型公式 Instagram「# みんなのちよびっく」をはじめました。長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿していただくと、市公式 Instagram アカウントでご紹介。詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページ「長浜市ほっとにゆへす」で詳しく見ることができます。



▲市ホームページ



▲長浜市ほっとにゆへす

12月2日(土) 自分たちのまちは自分たちでつくる

市民活動団体の交流イベント「みんなでつながるひろば」が、リユートプラザで開かれました。福祉サービスの提供や子どもの居場所づくり、環境保全、地域文化の振興など、様々な活動をしている48の団体、およそ200人が交流を深めました。活動ジャンル別の話し合いでは、課題に共感したり、解決策を出し合ったりと白熱。新たに出会った団体同士がつながりを深める良い機会となりました。



12月3日(日) 手づくりの舞台で力いっぱい歌いました

長浜少年少女合唱団「輝りキッズ」の定期演奏会が、長浜文化芸術会館で行われました。音楽の祭典で披露した「怪獣のバラード」や、今回の演奏会で卒業となる中学3年生のソロを披露したほか、衣装や舞台セットを手作りしたミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」を披露。今年流行したお笑い芸人のネタなども盛り込まれ、満員となった会場から笑い声も聞かれて大いに盛り上がりました。

12月9日(土) 外国語スピーチで国際交流

日本人は外国語で、外国人は日本語で話す弁論大会「YOU 弁 IN NAGAHAMA2017」が国際文化交流ハウスGEOで開かれ、6か国14人が発表しました。日本に来て感じたことや自国との文化の違いなどを紹介。慣れない言葉ながらユーモアも織り交ぜ、楽しいスピーチを披露しました。大会終了後のクリスマスパーティは、イタリア料理を囲みながらの和やかな交流の場となりました。



12月10日(日) 豆力士の熱戦に大歓声あがる

金太郎の里で知られる西黒田のまちづくりセンターで相撲大会が開かれ、4歳児から小学6年生まで65人が相撲を取りました。思い切りぶつかって押し出す相撲、豪快に投げる相撲など、大人顔負けの取組が続き、会場から惜しめない拍手が送られました。また、中学生や高校生のお兄さん力士と稽古をする機会も設けられ、子どもたちは目を輝かせ稽古に励んでいました。